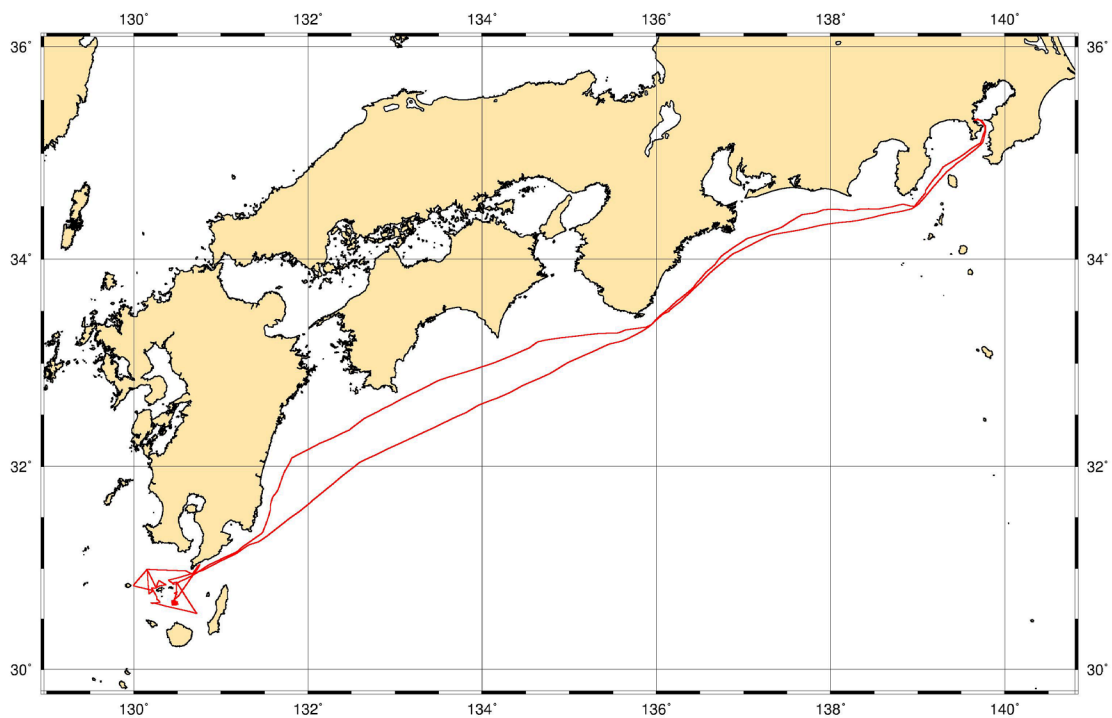


クルーズサマリー

1. 航海情報

- (1) 航海番号： KM22-01
- (2) 使用船舶： かいめい
- (3) 航海名称
鬼界海底カルデラの総合調査
- (4) 首席研究者
田中 聡 (海洋研究開発機構)
- (5) 課題代表研究者
P21-10_2 田中 聡 (海洋研究開発機構)
- (6) 研究課題名
P21-10_2 鬼界海底カルデラの総合調査
- (7) 航海期間
2022/01/07 - 2022/01/19
- (8) 出港～帰港
横須賀港 JAMSTEC 専用 1 号棧橋 - 横須賀港 JAMSTEC 専用 1 号棧橋
- (9) 調査海域
南西諸島・鬼界カルデラ周辺海域
- (10) 航跡図

KM22-01_NavTrack



2. 調査概要

本航海の目的は、7300年前の巨大噴火をはじめとして大・小規模の噴火を現在まで繰り返してきた鬼界海底カルデラにおける火山活動履歴を明らかにすることである。そのため、鬼界海底カルデラの内部、カルデラ壁、カルデラ外において、かいめい搭載の無人探査機

(KM-ROV) を用いた海底観察及び地質試料採取と海底設置型掘削装置 (BMS) を用いた海底掘削を実施する。得られた地質試料の化学組成や年代値の分析を基に、カルデラの形成過程と過去に起きた海底噴火の実態を明らかにする。また、未回収の短周期地震計の応答確認を行う。

本調査は、海域地震火山部門のサブ課題 (3) 「火山及び地球変動要因としての地球内部活動の状況把握と変動予測」を達成するための実施項目「我が国最大規模のカルデラなどを対象とした構造探査、火山体の海底調査、岩石試料採取を行う」及び「無人自動観測システムと海底観測機器を組み合わせた海域火山活動観測システムを開発する」に該当し、原子力規制庁との共同研究「大規模噴火現象の時間進展プロセスに関する研究」(2021年度～2023年度)及び神戸大学との包括連携協定のもとに行われる共同研究「大規模噴火を繰り返すカルデラ火山総合調査」(2019年度～2021年度)に基づき実施される。